

講義名	業界研究（証券業）/経済学特講（証券経済論）				授業形態	
担当教員	森澤 龍也		開講期・曜日・時限		前期 水曜日 3 時限	
			単位数	2	履修開始年次	2 年生
主題と概要						
野村証券株式会社の提供により「資本市場の役割と証券投資」を主題に開講する。現代の証券市場とそこで活動する証券会社、そして資産運用ビジネスについて、最も基礎的な理論と最新の知識を学ぶことにより、証券投資を身近なものとして理解することを目指すとする。						
到達目標						
証券会社や資産運用について、実務経験に基づいた最新の知識を学ぶことで、金融リテラシーを身につけることができるようになる。						
提出課題						
毎回の講義に際して、講義中課題を提出する必要がある。詳細は第一回開講時に説明する。						
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法						
オムニバス講義にて実施する関係上、当日の時間が許す場合、簡単な講評を述べる予定である。						
評価の基準						
最終評価は提出課題および定期試験によって行う。 ・講義中課題：60％ ・定期試験：40％ 遅刻・欠席・課題未提出は減点対象である。						
履修にあたっての注意・助言他						
証券市場は、資本主義経済の根幹を成す部分である。証券市場についての知識を欠いてビジネス一般を語ることはできない。確定拠出年金制度の導入にみられるように、証券市場とそこにおける資産運用の理解は諸君自身の生涯ファイナンスにおいてもきわめて重要なテーマとなっている。 この講義は、第一線のビジネスマンによるものであり、単なる知識の修得以上に諸君の関心をかきたてるものと信じているので、熱心に聴いて欲しい。						
教科書						
・ 特定の教科書は使用しない。・						
参考図書						
・ 参考文献については講義中に適時、紹介する。・						

その他		
＜昨年度紹介された参考文献＞ 『新・入門証券論』 柳原茂樹、城下賢喜、岡村秀夫、山口聖、月岡諒智、北島孝博 著 / 有斐閣コンパクト		
授業計画		
1. 証券経済を学ぶにあたって 予習：参考書や情報検索などによって講義範囲に関連する情報を収集し、要点をまとめておく。（2時間） 復習：配布資料の熟読、講義ノートの整理に取り組み、講義内容の理解を深める。（2時間）		
2. 金融の仕組み 予習：参考書や情報検索などによって講義範囲に関連する情報を収集し、要点をまとめておく。（2時間） 復習：配布資料の熟読、講義ノートの整理に取り組み、講義内容の理解を深める。（2時間）		
3. 株式入門 予習：参考書や情報検索などによって講義範囲に関連する情報を収集し、要点をまとめておく。（2時間） 復習：配布資料の熟読、講義ノートの整理に取り組み、講義内容の理解を深める。（2時間）		
4. 現代金融の諸問題 予習：参考書や情報検索などによって講義範囲に関連する情報を収集し、要点をまとめておく。（2時間） 復習：配布資料の熟読、講義ノートの整理に取り組み、講義内容の理解を深める。（2時間）		
5. 債券入門 予習：参考書や情報検索などによって講義範囲に関連する情報を収集し、要点をまとめておく。（2時間） 復習：配布資料の熟読、講義ノートの整理に取り組み、講義内容の理解を深める。（2時間）		
6. 外国為替のいろは 予習：参考書や情報検索などによって講義範囲に関連する情報を収集し、要点をまとめておく。（2時間） 復習：配布資料の熟読、講義ノートの整理に取り組み、講義内容の理解を深める。（2時間）		
7. グローバル化する世界と資本市場の果たす役割 予習：参考書や情報検索などによって講義範囲に関連する情報を収集し、要点をまとめておく。（2時間） 復習：配布資料の熟読、講義ノートの整理に取り組み、講義内容の理解を深める。（2時間）		
8. リスク&リターンとポートフォリオの考え方 予習：参考書や情報検索などによって講義範囲に関連する情報を収集し、要点をまとめておく。（2時間） 復習：配布資料の熟読、講義ノートの整理に取り組み、講義内容の理解を深める。（2時間）		
9. 投資信託入門 予習：参考書や情報検索などによって講義範囲に関連する情報を収集し、要点をまとめておく。（2時間） 復習：配布資料の熟読、講義ノートの整理に取り組み、講義内容の理解を深める。（2時間）		
10. 投資家心理を学ぶ 予習：参考書や情報検索などによって講義範囲に関連する情報を収集し、要点をまとめておく。（2時間） 復習：配布資料の熟読、講義ノートの整理に取り組み、講義内容の理解を深める。（2時間）		
11. ライフプランと資産形成 予習：参考書や情報検索などによって講義範囲に関連する情報を収集し、要点をまとめておく。（2時間） 復習：配布資料の熟読、講義ノートの整理に取り組み、講義内容の理解を深める。（2時間）		
12. 公的年金制度について 予習：参考書や情報検索などによって講義範囲に関連する情報を収集し、要点をまとめておく。（2時間） 復習：配布資料の熟読、講義ノートの整理に取り組み、講義内容の理解を深める。（2時間）		
13. 確定拠出年金について 予習：参考書や情報検索などによって講義範囲に関連する情報を収集し、要点をまとめておく。（2時間） 復習：配布資料の熟読、講義ノートの整理に取り組み、講義内容の理解を深める。（2時間）		
14. ポートフォリオの作成 予習：参考書や情報検索などによって講義範囲に関連する情報を収集し、要点をまとめておく。（2時間） 復習：配布資料の熟読、講義ノートの整理に取り組み、講義内容の理解を深める。（2時間）		
15. マネープランの作成		
授業形態（アクティブ・ラーニング）		
	ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（A L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連		
証券会社や資産運用について、実務経験に基づいた最新の知識を学び、金融リテラシーを身につけることで学部OPの育成方針に貢献できる。		